

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	今後も更に子ども達との交流方法を検討していく予定である。ホームのガーデンも活用し、茶話会等で地域の方との集いの機会を作るなど、職員のアイデアを結集していきたいと考えている。	地域の子供達との交流の機会を増やす。ガーデンの活用を職員の工夫やアイデアを取り入れながら行うよう努める。	地域の幼稚園・保育園・学校などへの挨拶まわりや交流の依頼を定期的に行う。ホームのガーデンの活用について、家族様の協力も仰ぎつつ、近隣住民を招待することも検討していく。子供達や地域住民の利用者様からのもてなしとして歌やスタッフと共に作成したお菓子など提供する。	24 ヶ月
2	40	誕生日のケーキ作りを楽しまれたり、収穫した胡瓜の塩もみ等もして頂いた。今後ご利用者の役割を増やすために、レクの時に一緒に料理をしたり、以前作っておられた“梅干し”作り等の楽しみも増やす予定である。	“食”に関する場面に利用様の役割を見出し、日常の中で参加・協力してもらえよう努める。	調理のみならず、献立(行事食)や栽培の方法など、利用者様が主役となり“食”に繋がる様々な事に関われるような工夫を行う。	24 ヶ月
3	49	今後も職員全員で「玄関の外に出る」企画作りを楽しまれていく予定である。リスクマネジメントも踏まえた計画を職員主体で検討していきたいと考えている。	定期的な(職員主体の)外出に限らず、「玄関の外に出る」「外の空気をを感じる」ことから始め、利用者様の希望する外出が個別的に出来るよう、検討していく。	認知症の進行やBPSDや身体状況を把握・理解した上で、無理のない計画を立て、家族様の協力も仰ぎながら、実施する。定期的ではなくても介護計画へ反映させる。	24 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月